

♩ 木の芽だ 桜だ 丘の上～の園歌より…

丘のうえ

第134号

令和2年6月9日発行

発行・編集／東遠学園組合

URL:<http://toengakuen.jp/>

[児童部] 17名、短期入所5名 [青年部] 10名、短期入所7名、生活介護24名

[東遠地区生活支援センター] 84名(放課後デイサービス・レスパイト・ホームヘルプ)

[こども発達センターめばえ] 52名(毎日通園:知的28名・重心児12名、並行通園:12名)

[こども発達センターみなみめばえ] 40名(毎日通園:知的26名・重心児6名、並行通園:8名)

【人数は定員:令和2年4月1日現在 (東遠地区生活支援センターは、登録者数)】



国の緊急事態宣言に端を発した、新型コロナウイルスへの対応のため、学校の休業、幼稚園の登園や外出の自粛など、これまで経験した事のない事態となりました。緊急事態宣言は解除となりましたが、まだまだ不安が残りの生活が続きます。

児童部の子ども達も学校の休業に加え、施設内感染を防止するため、外出や一時帰宅の自粛など様々な我慢を強いられる状況が長く続きました。

そんな中でも、職員と一緒に楽しい過ごし方を考え、「コロナに負けるな!ミニ運動会」や制作活動、午前中には毎日勉強の時間を設けるなど、ストレスを溜めないような様々な活動を行ない、なんとか乗り越えることができました。

児童部の仲間や職員と一緒に居る時間がこれまで以上に増えた分、より一層仲良くなれたかなと思います。

令和2年度のスタートにあたって

■令和元年度を振り返って

平成から令和の時代に変わり、今年は何も思っていない話題の多い一年になればと思っていた矢先、4年に1度のスポーツの祭典「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催が、新型コロナウイルス感染拡大により一年先送りになったことは、残念な気持ちと、何か出鼻をくじかれた感があります。

コロナウイルスで始まったと言っても過言でない令和2年度ですが、令和元年度を振り返ってみると、大型台風の接近、上陸による全国各地大規模な土砂災害や水害の発生、また、新型コロナウイルスの国内感染拡大による小中高等学校の一斉休校な

ど、施設における防災対策感染症対策の在り方について、改めて考えさせられる一年でありました。

また、平成28年7月に発生した神奈川県相模原市の障害施設殺傷事件についての裁判では、横浜地方裁判所が被告に対し厳しい判決を言い渡したことは、まだ記憶に新しいところです。私たちは、施設の防犯対策に一石を投じた本事件を風化させることなく、これからも利用者の安心、安全を確保する取り組みを継続していかねばならないと感じています。

組合では、こうした災害や事故、事件などを未然に防ぐ取り組みは勿論、有事が発生した場合においても利用者及び職員の

安全確保を第一に考えた防災対策、防犯対策、感染症対策など、危機管理体制を更に充実していきたいと思えます。

■年度初めにあたって

東遠学園組合では、11名の新入職員を迎え新年度がスタートしました。

年度初めにあたり、私から全職員に1年間取り組んでいただきたいこととして、次の3項目についてお願いをしました。

- (1) 報告・連絡・相談(ホウレンソウ)の励行
- (2) P(プラン)・D(ドゥ)・C(チェック)・A(アクション)の実行
- (3) あいさつの励行と風通しの良い、明るい職場づくり

この中で最も重点をおいて取り組んでもらいたいこととしてお願いしたのが、来園者に対してのあいさつは勿論ですが、職員間においても気持ちよくあいさつを交わすことで、自然と明

る雰囲気職場になっていくのではないかと思います。

また、職員ひとり一人が毎日楽しく、やりがいをもって仕事ができる風通しの良い明るい職場は、利用者さんへの支援にも必ずプラスに働くのではないかと考えます。私も、相手に気持ちよく伝わるあいさつを心掛けていきたいと思えます。

令和2年度も、組合の基本方針である乳幼児期から学齢期、青年期に至る途切れない支援に「チーム東遠」で取り組んでいきますので、今後におきましても変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。



東遠学園長 高橋住夫

令和2年度がスタートし、2ヶ月が過ぎました。今年度、青年部では入所支援と生活介護に新たな利用者さんが加わり、一段とにぎやかになりました。

新年度が始まって20日ほど過ぎた頃から、新型コロナウイルスの影響を受け、週末帰宅していた方も帰宅を中止とし、GWも東遠学園で過ごしていただきました。帰宅が中止となり、落ち着かなくなる方もいましたが、寮職員だけでなく他部署の職員の協力を得ながら、利用者

さんが安心して生活できるように支援に励んできました。

寮内では、午前中おやつ作りをしたり、敷地内の自動販売機で好きなジュースを購入して飲んだり…、また屋内だけでは落ち着かない方は、ドライブに出かけた先でジュースを購入する等…、利用者さんに合わせて活動をしてきました。

青年部【入所支援・生活介護】

コロナに向き合い、元気に過ごす！



生活介護（日中活動）では、この春

高等部を卒業した利用者さんが新しい生活をスタートさせています。作業や余暇的な活動等、少しずつ新しい生活リズムに慣れつつあった4月下旬から、生活介護も地域から通う利用者の皆さんにはお休みをしていただき、約3週間自宅での生活をお願いしてきました。利用者さん本人やご家族の皆さんは、在宅生活となったことで日中通うことができず、また入所の方は帰宅ができず、本人はもちろん、ご家族の方も大変な3週間だったと思われます。

5月半ばより帰宅も生活介護も行えるようになり、元の生活の再スタートが切れました。まだ油断はできませんが、今年度も青年部の利用者さんの生活が充実したものになるように、そして安心して過ごすごすことができるように支援していきたいと思えます。

R2年度も
こども達と
笑顔で元気に

こども発達センター めばえ・

新型コロナウイルス対策の中で

4月、新型コロナウイルス対策として、めばえ・みなみめばえにおいても、子ども達の様子や各家庭の状況を踏まえ、必要なお子さんについては受け入れを行いながら、登園自粛のお願いをしてきました。いつもであれば子ども達を迎え入れ、賑やかな声がする園庭やクラスも、少し静かで寂しさも感じる日々でした。



毎日通う場所があり、楽しい遊び、先生やお友達との関わりを経験したい子ども達です。しかし、自粛によりいつもの生活が制限され、先が見えない不安の中、子ども達と御家族が互いにストレスを抱え込みやすい状況です。環境変化に上手く合わせていくのが苦手だったり、気持ちを上手く言葉で表わしにくい子ども達にとって、そのストレスは私達が思っている以上かもしれません。少しでも楽しく安心して過ごせるよう、それぞれの御家庭で工夫をしながら過ごして頂いており、めばえ・みなみめばえでも、そこに少しでも寄り添う為に取り組んできました。

主には、定期的な電話連絡や家庭訪問を行い、健康状態や、家庭での子ども達の様子を御家族と丁寧に共有してきました。また、自粛生活が続く中、子ども達に向き合う御家族の思いや心配を聞き取り、家庭での過ごし方を一緒に考えてきました。このような状況ですが、話を聞かせてもらう事で、家庭での子ども達の様子や御家族との関わりをより具体的に教えて頂く機会になり、今後の園生活での子ども達への配慮であったり、御家族との繋がりを深めていく機会にもなっています。



緊急事態宣言が解除され、5月下旬から感染予防を徹底しながら、段階的に登園を開始しています。「健康チェック表」を用いて、体調管理を御家庭にお願いし、園生活では、過度な接触が続く事を防ぐ為、各クラスを半分ずつに分けて一日おきで登園してもらう等、環境設定にも配慮しています。登園再開初日、御家族の送り迎えで子ども達次々に登園し、元気な姿を見せてくれました。日差しの照りつける良いお天気の中、クラスや園庭で、職員と元気に遊ぶ子ども達の楽しそうな声が、また聞こえてきました。



みなみめばえ

新たな子ども達、職員を迎え、R2 年度がスタートしました。昨年度より広まる新型コロナウイルス対策により、生活に不安も抱きやすい中、子ども達や保護者に少しでも安心して過ごしてもらえよう、努めていきます。

入園式・始業式を行いました

めばえは4月6日に16名のお友達、みなみめばえは4月7日に12名のお友達を迎えました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策で、新入園児のみの参加となりました。少人数ならではのみんなの顔が見やすい和やかな雰囲気となりました。

午後は在園児の始業式を行いました。新しいクラスや職員が発表され、ワクワクドキドキの新年度がスタートしました。現在は新型コロナウイルス感染症対策のため通常通りの療育実施ではありませんが、一日も早く通常通り開催できることを願っています。



今年度もコロナに負けず職員の出し物「みらいくんとゆめみちゃん」で子ども達を歓迎しています！

令和2年度職員紹介



こども発達センターめばえ

こども発達センターみなみめばえ

今年度の行事について

年間計画の見直しを行い、9月末までの行事及び遠足の変更を行いました。実施する時期が変わっても楽しい一年にしていきたいと思えます。

5/24 父親保育参加日
→中止
11月をお楽しみに！

8/7 納涼祭
→保育の時間内で行います。

9/5 祖父母参加日
→中止

6/20・21 親子運動会
→10月の保育参加日で行います。

6月下旬～7月上旬プール開き
→今年は水遊びを楽しみます。

10/15・22 親子遠足
→3月クラスごとお別れ散歩を行います。





《 行事予定 》



* 毎号、行事予定を記載していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応等により、予定していた行事などが延期や中止となり、その都度変更がされています。御了承ください。

一苦情解決窓口より一

《こども発達センターみなみめばえ》

家庭の事情により保育時間の延長を要望しているが返答の時間がゆかり、親身に話を聞いてもらえない。

⇒保護者の気持ちを受け止められなかった事、返答が遅くなった事を謝罪させて頂き、預かり保育については市町と検討していくことを報告しました。



【お知らせ】

4月から東遠学園組合に11名の方が入職しました。

各部署で楽しく一生懸命頑張ります！



《 感謝の心 》



【寄付】

奥宮 貴志夫 様 (現金)
 ミクニ労働組合菊川支部 様 (現金)
 フジオーゼックス(株) 様 (現金)
 アピタ掛川店 様 (日用雑貨品)
 株式会社グラニフ 様 (衣類)

【ボランティア】

鈴木 瑞枝 様 (お茶・お華)
 伊谷 園枝 様 (お茶・お華)
 栗下 静江 様 (裁縫)

東遠学園に関わりのある方を通じて「子ども達や職員さんで使ってください。」とかわいい手作りのマスクが届きました。お心遣いありがとうございます。



暖かい善意を

ありがとうございました。



【編集後記】

6月に入り、梅雨の季節を迎えました。

体調を崩しやすい時期ですが、食事・睡眠・運動を心掛け、元気に過ごしましょう。

さて、東遠学園組合は、本年5月1日に創立50年を迎えました。

この記念すべき50年という節目の年を迎えることができましたのも、ひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物と心から感謝しております。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、色々な制限がかかる中での組合運営を強いられていますが、その中から見つかる楽しみや発見もたくさんあります。

今年度も「丘のうえ」を通して、東遠学園の「元気」を皆さんに伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【編集委員】沢島大助 富原毅彦 岡本真美 笹本優衣 中村洋平 津原樹 薩川敦



東遠学園 児童部・青年部	〒439-0037 菊川市西方 4345-2	TEL:0537-35-2753 FAX:0537-35-2799
東遠地区生活支援センター支援担当	〒439-0037 菊川市西方 4345-2	TEL:0537-37-3995 FAX:0537-37-3996
相談窓口		TEL:0537-35-2971
こども発達センターめばえ	〒436-0016 掛川市板沢 1941-35	TEL:0537-23-2312 FAX:0537-23-0008
みなみめばえ	〒437-1611 御前崎市新野 1877-7	TEL:0537-85-1200 FAX:0537-85-1201